

# 次回、第3回ワークショップを12月14日(水)に開催します

第2回のワークショップで頂いた整備の方向性(課題点や整備のイメージをもとにまとめた基本計画案)を踏まえて作成した基本設計案を提示し、施設のイメージやデザインなどを整理していきます。

日時：平成28年12月14日(水)  
午後6時半～8時半  
会場：市立市川歴史博物館  
2F講堂

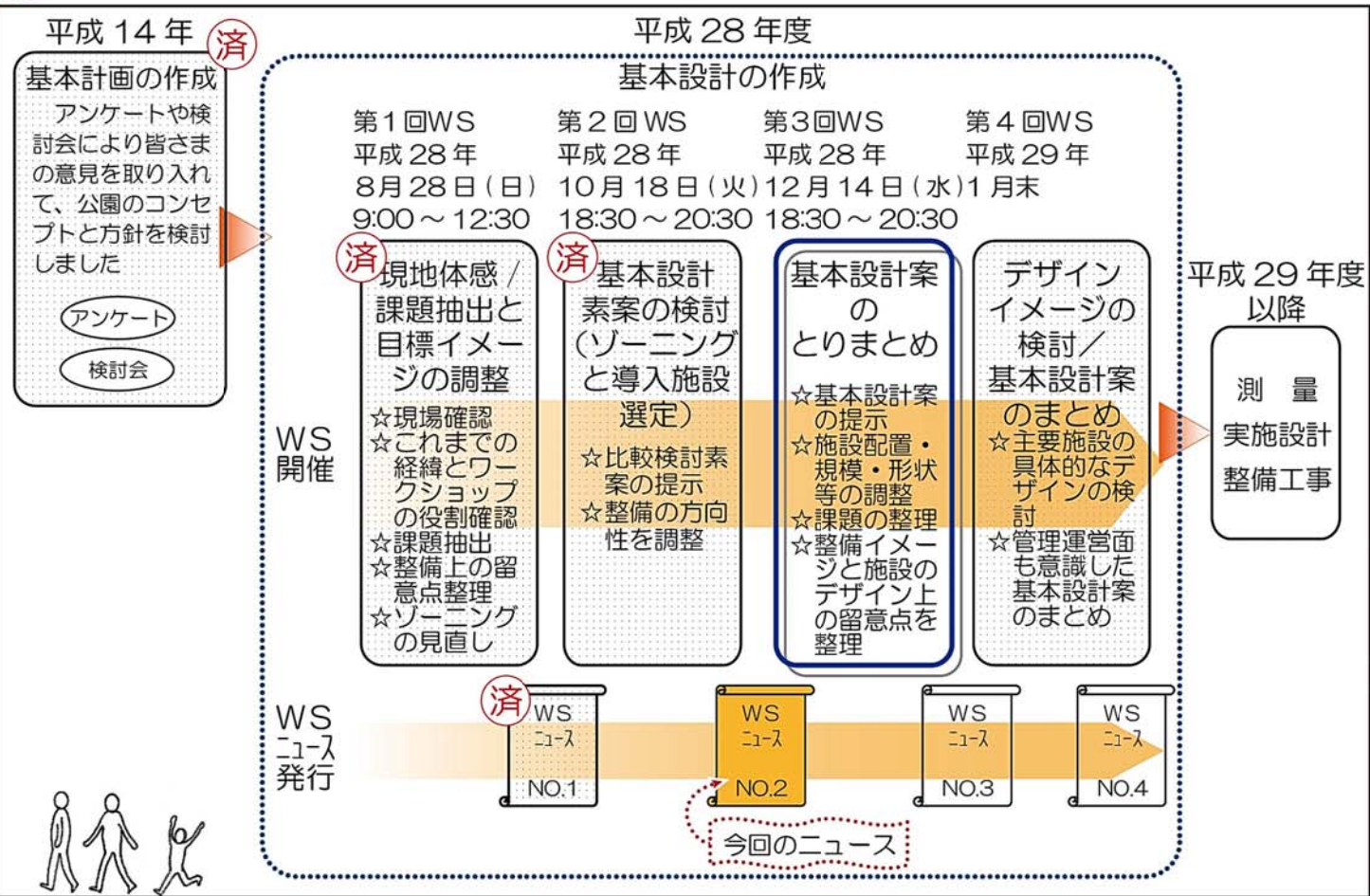
- ☆検討内容☆
- ・整備計画案の検討
  - ・整備イメージと施設のデザインの留意点の整理
  - 他

ぜひご参加下さい!

検討会会場：市川歴史博物館

※会員の方には、別途案内をお送りいたします。

## ワークショップスケジュール(経過と今後の予定)



【お問い合わせ先】  
株式会社あい造園設計事務所 電話：03-3325-6660 ファクシミリ：03-3325-6262  
【事業担当課】  
市川市水と緑の部公園緑地課 電話：047-712-6367 ファクシミリ：047-712-6365

# 「小塚山公園拡充予定地の整備を考える会」 ワークショップニュース

発行/市川市水と緑の部公園緑地課  
編集/(株)あい造園設計事務所  
発行日/平成28年11月24日

No.2

小塚山公園拡充予定地の整備プランについて、平成14年に地域の皆様のご意見をいただきながら検討いたしました。  
今年度のワークショップは、周辺自治会から応募いただき、当時の計画案をもとにして、周辺状況の変化などを考慮しながら、基本計画の見直し及び基本設計を行っていきます。

## 平成14年に行われた公園のコンセプトと方針

- コンセプト：緑と水をつなぎ、里山の自然を育み継承しながら、地域の全ての人々が安心して集い交流する「環境ふれあい公園」
- 方針1：『堀之内貝塚公園、小塚山公園、じゅんさい池緑地を緑の散策道で結び、日常生活や自然散策に便利な公園づくり』
  - 方針2：『安心して暮らせる生活環境の向上のために安全で清潔な公園づくり』
  - 方針3：『子供からお年寄りまで全ての人々が自由にのんびりとくつろげる明るくて開放感のある公園づくり』
  - 方針4：『緑豊かな地域の自然とふれあい、四季の変化を享受できる公園づくり』
  - 方針5：『自然と楽しく遊べる里山体験を基調とした個性豊かな公園づくり』
  - 方針6：『自然と共生する暮らしを継承するために谷津の自然景観とそこに生きる動植物を守り育む公園づくり』
  - 方針7：『地域の歴史風土を学べる原風景を保全するために谷津地形を活かした公園づくり』
  - 方針8：『地域の共有財産である公園の管理に主体的に参加する公園づくり』

## ご報告

### 10月18日(火)に第2回ワークショップを開催しました!

メンバー24人の参加のもと、前回のワークショップで話し合った目標イメージをもとに作成した基本計画素案2案をもとに、各グループで2つの案それぞれを比較しながら、公園の整備の方向性について話し合いました。



※詳しくは、2～3頁をご覧ください。

# 第2回ワークショップで話し合われた内容をお知らせします

## 検討用比較素案



プラン1

前回の話し合いの内容をもとに比較検討素案2案（プラン1，2）を作成した。プラン1は、エコブリッジにつながる高低差を利用した細長いなだらかな丘で、既設の小塚山公園との連続性を強調した樹林地を丘の上に配置し、プラン2はやや人工的なコンパクトな丘を中心にする。全体的に明るい疎林の広場としている。



プラン2

ワークショップでは、比較検討素案2案の説明を聞いた後、グループごとに具体的にどちらのプランがよいのか、改善点はなにかなど、グループとしての計画案の方向性について話し合いました。

結果として、どのグループもプラン2をベースに公園の整備の方向性をまとめました。

## 今回の検討成果

### Aグループ意見のまとめ

**プラン2**

- 明るい疎林広場がよい  
流れのスタートは疎林の中からとする  
生き物のための流れとし、人が入ることはしない  
水の量は多くてもよい  
自然の水でいい
- 明るい広い広場がほしい  
音の問題など、近隣住民に配慮する  
ラジオ体操やバーベキューなどもできるといい
- 大きな駐車場を作って遠くから人を呼び寄せるのはやめてほしい  
必要最低限の施設にしたい
- 体験施設は将来的に担い手が現われた場合にも対応できるように湿性植物などではどうか
- エコブリッジはいらない  
エコブリッジからの視線が近隣住宅としては気になる
- 高さのある丘はいらない  
起伏の緩い、低い丘がよい  
エコブリッジまでのスロープは不要

公園全体として人の目が通るオープンな景観。  
地域に根ざした公園にしたい。  
アップダウンの少ないフラットな公園にしたい。  
管理施設などは、公園中央部で、駐車場に隣接でよい。

### Bグループ意見のまとめ

**プラン2**

- 遊び場スペースの確保  
人があまり立ち入らない  
サンクチュアリスペースも必要
- エコブリッジ  
→再考の余地はないのか  
設置位置や作りかたなど  
周辺住宅地からの見え方などに留意してほしい
- 流れは長いほうがよい  
自然な流れとして生き物が生息する空間にする  
人が入ることはしない
- 駐車場は利用者用に数台分  
(例：じゅんさい池緑地)
- T字路の安全性等に配慮した施設配置がよい
- 田んぼ(里の景)は市が補助して実現できないか
- 周辺の公園と緑でつなぐ

子どもから高齢者まで、地域のコミュニケーションの場としたい。  
地域に根ざした公園にしたい。  
集まれる場として、集会・倉庫機能をもった施設がほしい。  
必要な施設は、トイレ、駐車場、防災備蓄倉庫等で、公園中央部に配置がよい。

### Cグループ意見のまとめ

**プラン2**

- シンボリックな少し大きめの小山  
周囲との一体感があつたほうがよい  
芝すべりができるように  
樹木は少なくしたい  
スロープは無理につけなくてもよい
- 平らな面が多いほうが、公園が広く見える  
体操ができる場所がほしい
- 流れは人工的な施設でなく自然な流れとして  
生き物を呼べる空間にしたい。湿地がほしい  
ちょろちょろ流れる小川、コンパクトでもよい  
じゃぶじゃぶ池があつてもよいのでは
- 駐車場は2箇所もいらない  
8台程度で十分
- 体験施設はつくりず、自然風景でよい  
自然を利用した遊びができる場所がよい

元々あつた樹種を植えてほしい。  
地域住民用の集まれる場として、管理拠点施設がほしい。  
防災備蓄倉庫やかまどベンチ等がほしい。